

## 東部4歩行報告

篠崎 次郎

1. コース 下諏訪駅～甲州街道(出来るだけ旧街道を歩く)～笹子駅  
全長104km
2. 期日 2011, 9, 11～15
3. メンバー リーダー 江守善昭、記録 篠崎次郎  
全コース参加者 上記2名と鹿島静哉  
部分参加者 中村文宏、木村紀穂、友松知宏、住山茂、蔵田道子  
森正昭  
注 リーダー江守は9, 14夜急用で帰京、14夜～15は篠崎が代行
4. 歩行計画
  - 9, 11 下諏訪駅～諏訪神社～足長神社～上原城址～茅野市内～青柳駅～JRにて  
茅野駅 距離18km 宿泊地 駅前 ホテルわかみず  
メンバー 江守、鹿島、中村、木村、篠崎
  - 9, 12 1班 JRにて青柳駅～金沢宿～御射山神戸の一里塚～蔦木宿～教来石～  
サントリー白州工場 距離18km  
メンバー 中村、鹿島、木村  
2班 JRにて穴山駅～牧原八幡神社～台ガ原宿～サントリー白州工場  
距離 15km  
メンバー 江守、住山、篠崎、友松(サントリー工場から参加)  
1班、2班、と友松が合流しサントリー工場を見学、その後タクシーにて  
小淵沢駅 JRにて穴山駅へ 宿泊地 穴山温泉 能見荘
  - 9, 13 穴山駅～新府城址～葦崎宿～山梨県立美術館～甲府駅前 距離21km  
宿泊地 甲府東横イン  
メンバー 江守、鹿島、友松、木村(葦崎駅まで)、蔵田(美術館にて合流)  
住山、篠崎
  - 9, 14 甲府～善光寺～石和宿～勝沼宿～ぶどうの丘 距離16km  
宿泊地 市営ぶどうの丘  
メンバー 江守、鹿島、友松、蔵田、森(善光寺近くで合流)、篠崎
  - 9, 15 勝沼宿～横吹～駒飼宿～笹子峠～黒野田宿～笹子駅 距離16km  
メンバー 江守、鹿島、友松、蔵田、森、篠崎

## 5. 記録

計画のようにコースは出来るだけ旧街道を歩いたことにより旅籠、民家、を通る事が多く、笹子峠越えを除けば山の中、田畑の中の歩行はほとんどなかった。そして神社、寺、一里塚、記念碑、など歴史に触れる機会も多かった。又民家

も立派な歴史ある建物が多く、庭は手入れが行き届いており素晴らしい古木も見られた。コース全体ではアップダウンがかなりあり、標高では下諏訪760m、富士見950m、甲府260m、笹子峠1096mと結構きついものがあった。さらに5日間とも晴天に恵まれたがそのため真夏の暑さ(32~34℃)、アスファルトの照り返しには苦しめられた歩行であった。しかし幸いにも誰一人として熱中症にはならず元気に歩行を完了出来た。

#### 9, 11 下諏訪駅～青柳駅

メンバー 江守、鹿島、中村、木村(駅で合流)、篠崎

10時10分駅で木村が合流し歩行開始、駅より北に進むと直ぐに甲州街道の終点追分に出る。中山道との合流地点である。この直ぐ隣に下諏訪本陣、下社秋宮がある。神社の四隅には御柱が4本建てられている。この御柱は7年ごとに建て替えられており、町中の小さな神社にも必ず建っている。神社を参拝し旧道を上諏訪方面へと進む。途中石投げ場、銘木吉田の松(天然記念物)などを見、12時10分上諏訪駅、ここで昼食、名物の蕎麦を食べ12時40分再び歩きだす。13時20分足長神社で休憩、14時40分茅野駅横を通過、青柳駅へと進む。



下社秋宮

16時頃からにわか雨に合い20分ほど傘をさしての歩行となった。そして16時45分青柳駅到着、本日の歩行は終わった。駅は無人で茅野方面の電車は1時間待ち、やっと見つけた雑貨店にビールがあり今日の歩行の打ち上げとなった。そしてJRで茅野駅に戻り、ホテルわかみやへ



中山道と甲州街道の分岐点

#### 9, 12

##### 1班 青柳駅～サントリー白州工場

メンバー 鹿島、中村、木村

青柳駅で木村が合流し 7時45分出発、8時25分御射山神戸の一里塚を通過、この一里塚は江戸より48里目で、甲州街道の中でも原形を一番よく留めている一里塚である。道は富士見辺りまで登りが続く。やがて10時10分釜無川の大橋(瀬沢の大橋)を渡る。そして白州の橋で道を間違え(新しい道に入ったら行き止まりで)戻ったため30分ほどロスをしてしまった。

11時30分蔦木宿、道の駅、を通り、12時山口の口留番所跡で休憩、

12時40分教来石宿の郵便局で通過証明書にサインをもらいサントリー白州工場博物館に13時に到着した。

##### 2班 JRにて穴山駅～サントリー白州工場

メンバー 江守、住山、篠崎

穴山駅で住山と合流 8時10分歩行開始、駅はフォッサマグナの崖の上  
にあり、国道20号との高度差は100m近くある。ここを下るのに30分を  
要した。そして20号を歩くと八ヶ岳良が良く見えた。赤岳、権現岳、編笠  
山がきれいだ。甲斐駒岳も頂上が顔を出してきた。しばらく歩くと台ガ原宿  
へと旧道に入る。風情のある道を歩いていると七賢酒造、金精軒(信玄餅で有  
名)に行当たる。ここで休憩し利き酒と洒落込む。今日は中秋の名月だし、七  
賢酒造の酒と金精軒の団子を仕入れ名月を楽しむこととした。再び20号に  
入りしばらく行くサントリー工場に着く。到着時刻12時20分。レストランで  
昼食をとり、1班、友松と合流、工場を見学、  
試飲など楽しみタクシーで小淵沢駅へ。こ  
こで中村は帰宅、住山も帰宅、他メンバーはJ  
Rで穴山駅へゆき今日の宿 能見荘へ。この  
能見荘は百名山の著者深田久弥が茅が岳で亡  
くなる前夜に泊った宿で、おかみの話では泊  
ったのはその時が初めてで、お酒を結構楽し  
れたと言っていた。大きな宿ではないが、庭  
は立派に作られその中に茶室等があり、見事な古木の松も多数あった。全体で  
1000坪あるそうで良い宿だった。言うまでも無くその夜は月見酒を充分楽  
しんだ。



サントリー工場にて

#### 9, 13 穴山駅～山梨県立美術館～甲府

メンバー 江守、鹿島、住山、友松、木村、篠崎、蔵田(美術館で合流)

穴山駅で住山と合流、8時10分駅を出発  
8時35分新府城址を通り、9時45分韮  
崎駅入り口、ここで木村は帰宅、リーダー  
江守は人と会うとのことで韮崎駅へ(美術館  
で再び合流予定)他のメンバーは美術館に向  
かう。塩川橋をわたり、工事中のバイパス  
を通り竜王駅に着く。駅の近くで昼食をし  
美術館へ歩行再開。13時美術館着、ここ  
で蔵田、江守、が合流。館内を見学し13時  
50分出發、14時45分甲府の宿 東横イン着、住山はここで帰宅、有志は  
宿に荷物を置き武田神社を見学した。



新府城址

#### 9, 14 甲府～勝沼宿～葡萄の丘

メンバー 江守、鹿島、友松、蔵田、  
篠崎、森(石和近くで合流)

8時宿を出発 8時35分善光寺 境内を見学し石和に向かう。この途中で森

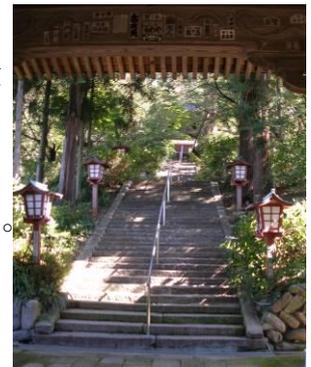
と合流した。石和駅を通過、笛吹川を渡り、さらに進むと栗原宿になる。この辺の街道筋にはぶどう園が多くあり、11時15分その一つに入り休憩した。冷たいぶどう液を注文 皆で飲んだ。33～4℃の炎天下での歩行でのども乾いており実に美味であった。途中昼食を取りさらに足を進めると勝沼宿に入る。町中から北に入りぶどうの丘へと登る。登り始めると直ぐの葡萄園に我々のような歩く旅を楽しんでいるグループの人に出合った。その人は次の旅の調査に来ており意気投合してしまった。巨峰を沢山ご馳走になり元気に高度70m程の丘を登って宿に着いた。ワイナリー等見学し夕食後リーダー江守は突然急用が出来たと帰京、リーダーを篠崎が代行する事になった。



ぶどうの丘へ向かう

9, 15 ぶどうの丘～勝沼宿～笹子峠～笹子駅  
メンバー 鹿島、友松、森、篠崎、  
体調不良で蔵田は朝帰京

8時出発、ぶどうの丘を下り勝沼宿から20号に入る。  
9時 国宝大善寺 別名葡萄寺とも言われている。僧行基が葡萄を持った薬師如来の夢を見てこれを彫刻して大善寺に安置、村人に葡萄の作り方を教えたのでこの地に葡萄の栽培が盛んになったと言われている。大善寺から20号を歩くこと1時間 9時55分峠道の入口となる。ここで一休みし旧道を歩く。峠へ行く車道に出たり入ったりしながらの道だが、駒飼宿を通り登って行くとやがて峠に出る。11時45分 ここで少々お腹を満たし笹子駅で昼食をしようと歩きだす。ここからは車道になるが、先日の台風で2か所大きな崖崩れがあり、道路が全く無くなっていた。土砂や倒木を越えて下る。県の天然記念物 矢立杉を通り20号と合流、更に進むとやがて笹子駅に着く。駅着14時10分 これで今回の歩行は全て終わった。笹子駅は無人で、自動販売機すら無い。打ち上げのビールもお預けで電車に乗って帰京。



大善寺



土砂と倒木の道路

今回の歩行は記録の通りメンバーの出入りが激しかったチームであったが、国内であったからできた旅だった。全コースを歩いたのは2人、他7人が出たり入ったり、でしたが変化がありとても楽しい旅になったと思っている。しかし暑さにはまいりまし

た。9月中旬ですからもう少し涼しい旅を予想していましたが、毎日Tシャツ1枚でも暑くこれ以上脱ぐものが無かったのですが、前記したように猛暑の中の歩行となったが誰も熱中症にならず、ワングルの人達は世間の人とは人種が違うのだと改めて知らされた旅でした。